



あらもう  
イっちゃうの？

無様ね

ベテランスパイの妻が屈強な男に  
蹂躪されて敗北無惨堕ちする話

・首絞め窒息失禁

・無様凌辱

・力でねじ伏せ蹂躪ファック





——なるほど  
そうやって  
うまく取り入ったわけか

サッ  
サッ

ええ♪

厳重な警備や  
ボディガード達を  
どうするかと思っていたが…

君しか出来ない芸当だな  
…でアラン王子は？

今お仕置き  
してるとこ♥



部屋に入ったら  
いきなり襲ってくるから  
びっくりしちゃった

まったく…  
品のない男♥





最近発生してる  
町の婦女の失踪事件の犯人は  
間違いなくこいつよ

城の地下に10人以上  
監禁されていたわ

自分の歪んだ性癖を  
満たすために  
肉奴隷にしていたようね



証拠も確保したけれど？

ザザッ

それで十分だ

じゃああとは  
好きにしていいいわね？

ヒッ！

…殺すなよ





罪のない女の子たちを  
痛めつけた報いよ  
しっかり罰を受けなさい

ほら

うっ！

いーけ  
いーけ  
♡♡

シコ  
シコ  
♡♡





よっとな

ギョ

うおおっ!

ジコ

ジコ



は はなせ  
し…死ぬ…

あら  
もうイっちゃうの？  
無様ね

でも あなたに捕まった  
女の子たちはもっと  
辛かったはずよ

ううう…っ



あっ おちんちん  
ビクビクしてきたわ!

もうイクのね?

我慢できないのね!?

イッちやうのね!?

ギュー

シッ  
シッ  
シッ







わあっ♡

おおっ!

トビュッ

ビュッ



たくさん  
でたわね

うっ…  
うっ…  
うっ…

よしよし♡

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

イロ…

グチャ

グチャ

グチャ



はーい  
休んでるところ  
悪いけど

ギューッ

ビクッッ

一回じゃ  
終わらないわよ

おおっ!?



その下劣でゴミみたいな性格  
この金玉の中すっからかんにすれば  
治ると思うの

だから  
私が絞り尽くしてあげる





死んじやう時って  
沢山精子出ちやうんだって

うわああああ  
ごめんなさいいいい!!

うふふ 泣きわめいて  
ほんとう情けないわね

み・じ・め♥

ほらイーけ♥ イーけ♥  
イーけ♥ イーけ♥

シコシコシコ  
シコシコシコ













もう思ったより  
早いんだから

もっと二人で  
楽しみたかったのに  
残念♥

ふー  
気が済んだわ

まったく  
君というやつは…





世界のどんな国にでも任務へ行き  
不正を暴き悪を正す

彼女は国際的非政府組織  
特殊警察機関アルブに  
所属するベテランスパイだ

彼女の名前は  
ふじの  
藤乃アヤネ

闇夜に乗じて悪を切る  
容赦のないその言動や性格から  
「冷刻の女豹」れいこくめひようの異名を持っている

そんな彼女は僕の妻だ  
オペレーターと僕と  
死線を共にするうちに  
お互い惹かれ合った

彼女は強い

その証拠にアラン王子の  
ボディガードたちも  
一人で難なく倒している

危険な任務に身を  
投じる妻 夫としては  
気が気ではない

うふふ  
大丈夫よ

そんなことより  
明日の任務が終わったら

ベッドでいっぱい  
愛し合いましょう









あら  
舐められたものね

得物も持たず  
私に勝とうだなんて

後でほえ面かいても  
知らないわよ



後で聞いた話だ

某国の犯罪組織が  
特殊警察機関アルブに対策して  
傭兵を雇い始めたらしい

紛争地帯で活躍する  
凄腕の軍人たちを  
ヘッドハンティングして  
編成した組織

スパイ狩<sup>がり</sup>











A manga-style illustration of a woman with large, prominent breasts and long, dark hair, lying on her back on a dark, textured surface. She is wearing a dark, form-fitting outfit. A sword with a blue hilt and a silver blade lies on the ground to her left. The scene is dimly lit, with a spotlight effect on the woman's body. There are three small, pink, stylized sound effects or text elements near her legs.

ふん 一撃で  
気を失うとはな…  
この程度か

まあ これから存分に  
可愛がってやろう  
ククク…

ヒッ

ヒッ

ヒッ…



どこかわからない  
監獄のような場所だった  
私はそこで男に  
監禁されている

暗い一室に  
互いの息遣いと  
性器が擦れ合う音が  
響いていた



ククク  
身体の自由を奪われ  
犯されているのに

ドナッ

声ひとつ上げないのは  
さすがだな

バチッ

ズナッ

グググ

グググ

.....



あんななんかに犯されても  
何も感じないわ

女性を気持ちよく  
させたいなら  
もっと丁寧に  
愛撫することね

ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

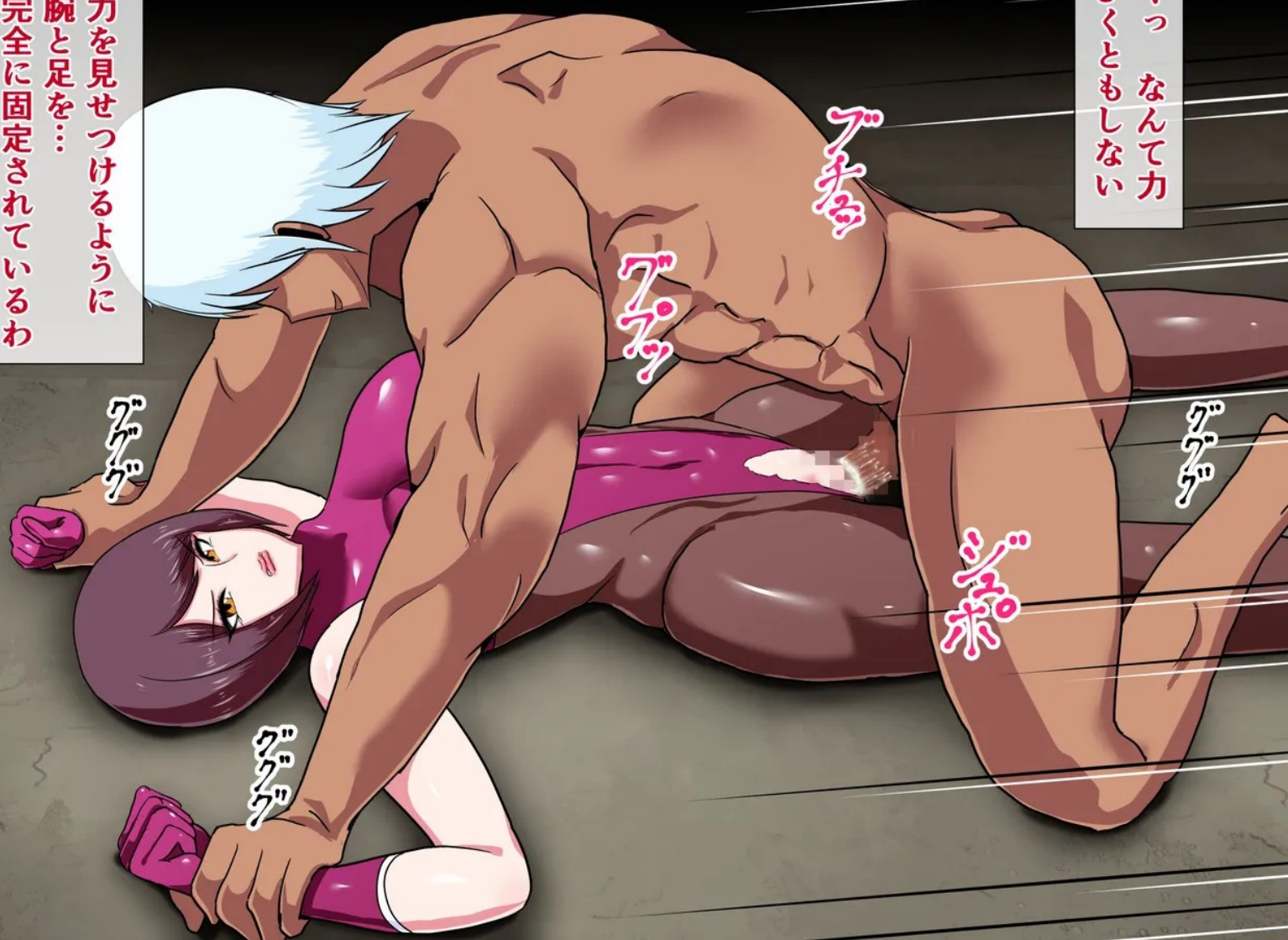
ククク その余裕が  
いつまで持つか見ものだな





くっ なんて力  
びくともしない

力を見せつけるように  
腕と足を…  
完全に固定されているわ



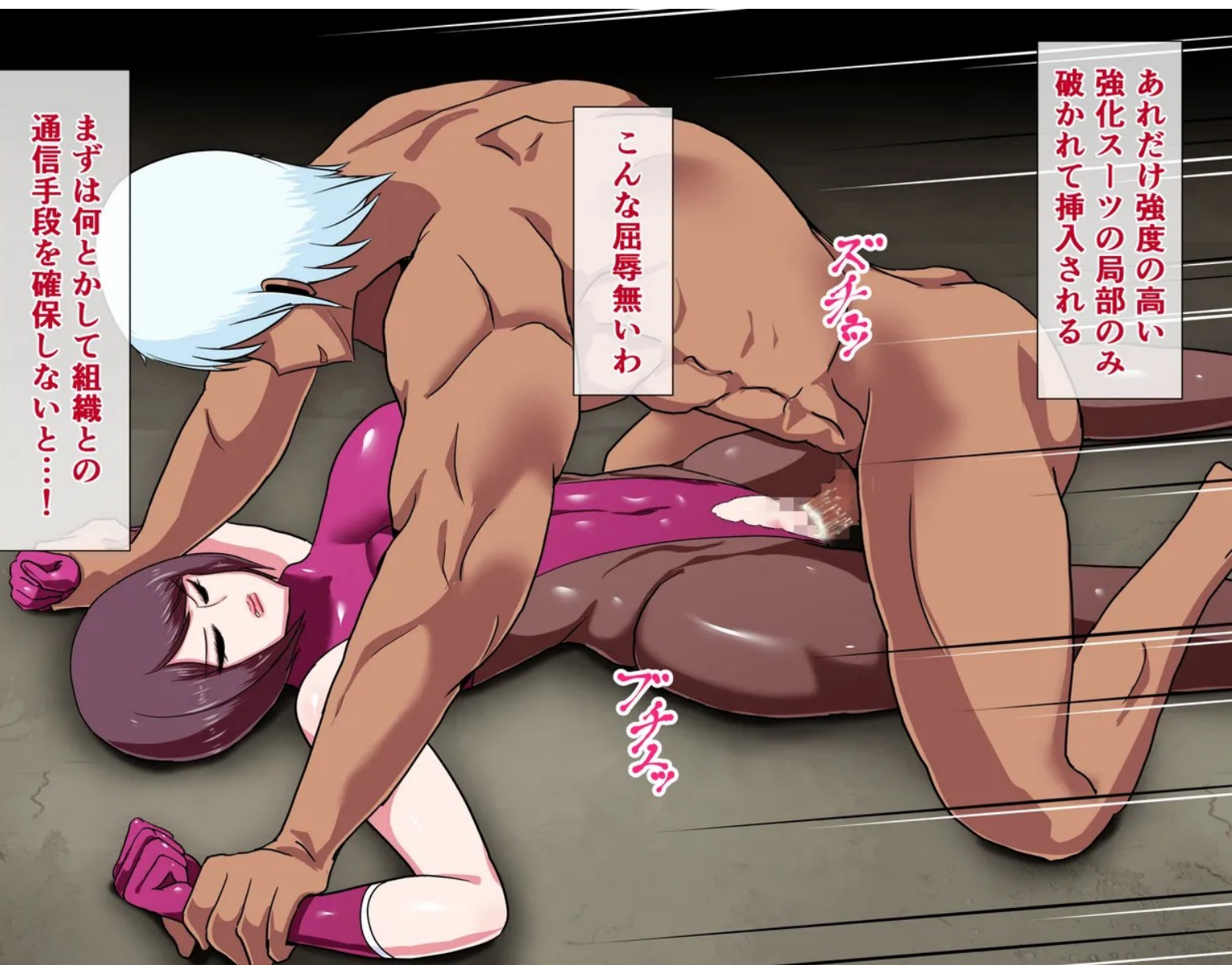
あれだけ強度の高い  
強化スーツの局部のみ  
破かれて挿入される

ズナッ

こんな屈辱無いわ

ブチッ

まずは何とかして組織との  
通信手段を確保しないと……!!







これはどうだ？

自分に  
挿入されているのが  
よくわかるだろう？

ほらその目で  
よく見ろ

……っ

……っ

グチャッ

グチャッ

グチャッ

グチャッ

グチャッ

グチャッ

わざと屈辱的に犯して  
私の感情を揺さぶろうと  
してるんだわ

私をただの性処理道具として  
扱ってる…っ

こんな最低な男  
絶対に許さない！

ブチッ

グズッ

グズッ





ククク…

相変わらず我慢強いようだな  
よく訓練された兵士だ

気に入った  
お前を俺の女に  
してやろう

ドチッ

ブッポ

ブッポ

ズッ



ふふっ  
私があなただのものになる？  
私には既に夫がいるの

あなたみたいな  
セックスのうまくない  
男に興味ないわ



ジューッ

ズブッ



クククっ  
減らず口だな  
必ず墮としてやる

できるものなら  
やってみなさい  
私は絶対にあなたのものに  
なんかならない

ブ  
ッ

ブ  
ッ

ブ  
ッ

ブ  
ッ



さっきからずっと  
子宮口を何回も突かれてる  
ピストンも早くなって…っ

まさかっ…  
このまま…っ











最悪っ…！  
夫以外の精液が私の子宮に…  
しかもこんな大量にっ！

どうだ？  
中に出された気分は？

まだ終わりじゃ  
無いからな  
覚悟しておけよ



ククク

また強引に…  
暴力的なセックス

ブッ  
ブッ

グ  
グ  
グ

ズ  
ズ  
ズ

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

こいつの目的は  
私の心を折ること  
私を力で服従させる気ね





強化スーツも  
いつの間にか  
ところどころ破れてる…

破損率が高いほど  
機能性も失ってしまう！

ズボ

ズボ

ズナ

ズブ



どうした？  
少しずつ焦りが  
見えてきたぞ？

…何のことかしら？

スーツを破くなんて  
私が気絶しているうちに  
可能だったはず…

こいつはそれも解っていて  
少しずつ私の力を削いでいる  
私を動揺させるために…





今でさえ力でかなわないのに  
完全にこの強化スーツの  
機能を失ったら…

ズボ

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

このままなら私の勝ち目は  
完全になくなる



と 思 っ て る ん で し ょ う ね  
私にはまだ手はあるわ

ズ  
ッ

本当下手なセックスね  
自分のことしか考えてない

私の夫を  
見習ったらどうかしら？

ズ  
ッ

ズ  
ッ





ククク 勘違いするな  
お前はただの肉便器に  
しか見ていない  
便器に氣遣う人間がいるのか？

くっ！

ぱちゅ

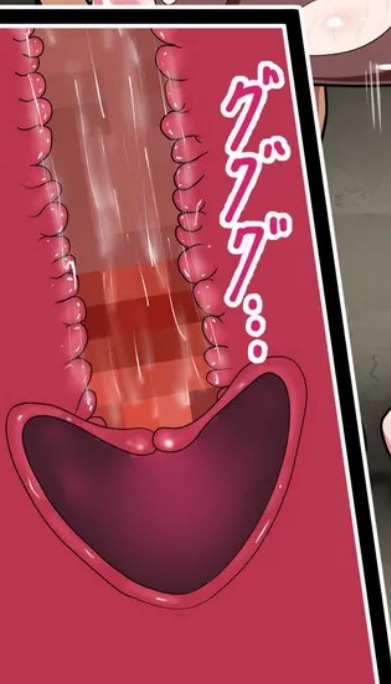
グチャッ

ブチッ

グチャッ

さて そろそろいくぞ

グググ...







はあはあ  
二回目の射精… くっ…  
まだペニスは萎えていない…



この男  
やはり人間離れしてるわ







ククク…  
捕まえた悪人を  
いたぶるのが  
好きらしいじゃないか

いたぶる？  
私は制裁を  
加えているだけよ

同じようなものだ  
今度はお前が受ける番だな



くっ  
呼吸が…

残念だけど  
純粋な力だけじゃ  
勝てない

ならば…





うふふ いつまでも  
やられっぱなしだと  
思っていたら大間違いよ

なに？

奥歯にある  
スイッチ

これを押すと  
強化スーツに電流が流れる  
人間なら死ぬほど強力だね



強化スーツも少し破けてるから  
私もダメージは受けるけど

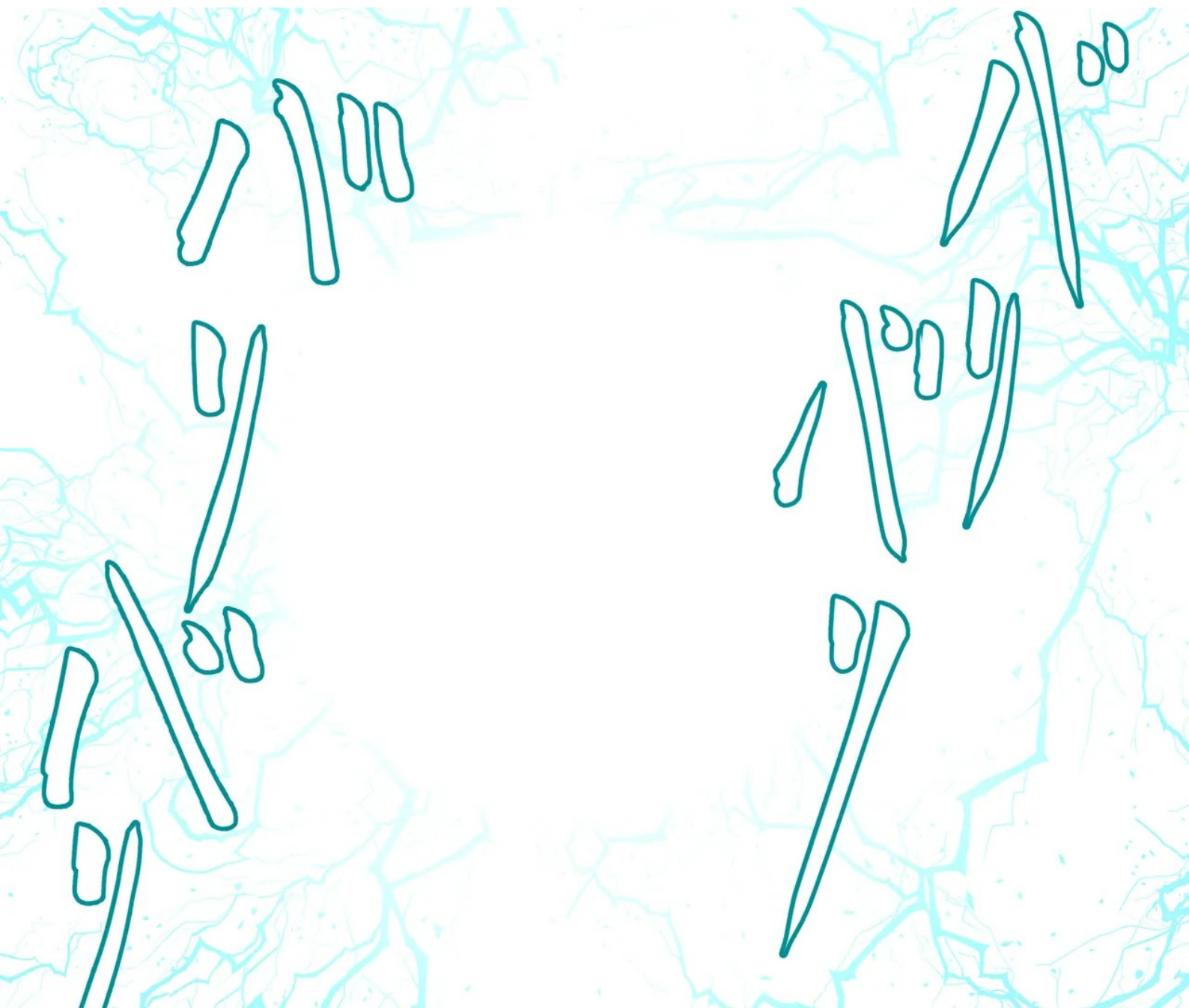
敵とこれだけ密着している  
今が最大の好機

ばいばい♥

なっ…







くっ やっぱり  
私にもかなりきたわね…

でも…  
これで…







なっ...

ああッ!

ギョ

ギョ

なんだ？  
今のが奥の手か？

な  
なんで

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

これを喰らって  
無事でいるはずは…

俺にはそんな技効かない  
何度も拷問に耐える  
訓練はしたからな





ひっ

ククク…  
初めて恐怖の表情をうかべたな  
もう手は尽きたのか？



うっ  
ぐっ  
息がっ…

早く外さないと  
窒息するぞ？

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

こ…  
こんなところで…  
私は…

ク  
ク  
ク  
もがけもがけ





私は負けられないのよ！

どんな状況だって  
諦めるわけにはいかない！

くっ

はっ

きっ

私が帰るのを  
待っている夫がいる！





はあ——っ!!!



私は絶対に…  
負けないっ!!





負けられ…  
なっ……







ククク  
失神したか...

失禁するとは呆れる  
これが冷刻の女豹と  
恐れられたスパイか

所詮は女だな

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ほか  
ほか

しゃー...

ビュッ  
ビュッ





ククク  
だがまだだ

心折れるまで犯し続け  
従順な肉奴隷にしてやろう

1週間後

男は監獄の中でわざと私を自由にさせ毎日勝負させた

しかし何度挑んでも敗北を刻まれる

嫌というほど実力の差を理解させられていた

負けた後は組み敷かれ徹底的に犯された





ククク  
不細工な顔だな

そんなことでは  
俺には絶対勝てんぞ

私は…まだっ負けてないわっ…  
あなたなんか…  
絶対につ屈っしないっ！



バチッ

単純に力だけが上だと思  
ってたけど違う

グチッ

ブチッ

バチッ

速さも体術も何もかも  
私よりずっと上…





お前はただの  
肉便器だ

強い雄に屈服する  
その辺の女と何ら変わらない  
一匹の非力な雌だ

うるせ……い……っ

ぜっ…絶対に私をつ  
コケにしたことを…  
後悔させてやるわっ…





おおおっ!?

グ

グ

グ

グ  
グ

パ

パ

パ

パ





お前は弱い  
お前は所詮女だ

男に犯されるだけのな

何度も何度も  
プライドをズタボロにするような  
言葉を言い聞かされる  
私に負け犬根性を刷り込んで







お前はただの肉奴隷だ

ドロォ...

どんなにこの身を痛め付けられようとも  
貶されようとも私は堕ちない！

あなた...  
待っていて絶対に諦めないから...

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



更に1週間後

ドチムッ

ブチムッ

一度も勝てない…

ついに武器も  
破壊された…

ハア

グチムッ

ハア

ハア

そそんな  
強化素材で  
出来た刀が…











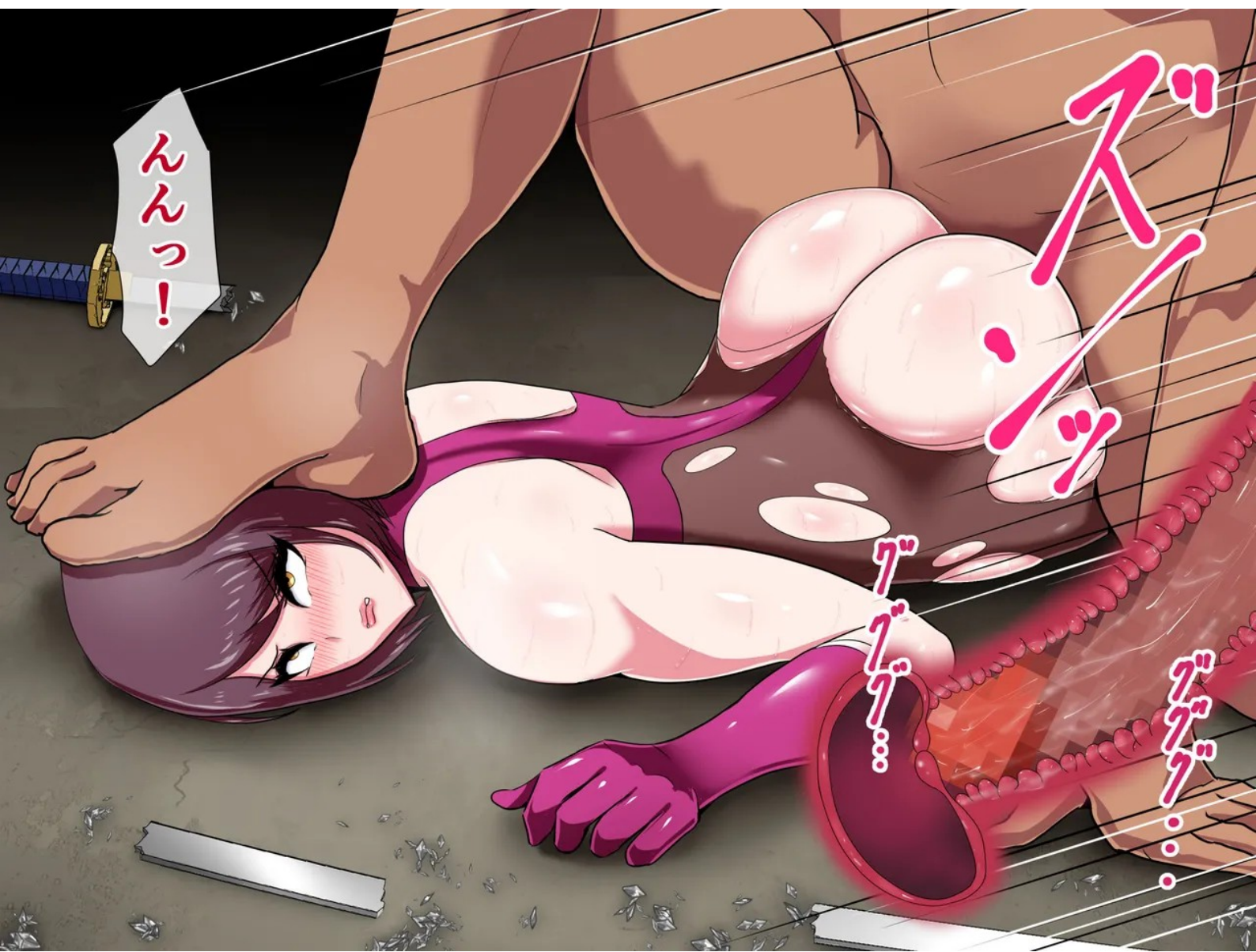


お前は弱い

雄に蹂躪され  
肉欲の捌け口に  
なるだけの弱い雌だ

くっ

ちがう!









積み上げてきた  
自信やプライド  
全てを否定される毎日

何度も力で蹂躪され  
快楽と屈辱を身体に刻まれた

もう私はこの男に  
勝てない...





それでも  
たった一つの希望があった

夫や組織は私を助け出すために  
きっと探しているはず…

救助される日が来るまで  
私はひたすら耐えた

捕らえられてから  
どのくらい経っただろう  
既に強化スーツもボロボロで  
機能もしていない

毎日の勝負も話にもならず  
一瞬で叩きのめされる

私はただの性処理道具として  
1日の大半を過ごした





どうした？  
何も喋らなくな  
ったじゃないか？

気力もう限界に近い

睨み返すのさえ  
やっと...



でも…あの人なら  
きっと助けてくれるはず…

クククッ  
助けがくることに  
一縷の望みを  
託しているのか？

果たして  
ここがわかるかな？





私たち…組織を…  
舐めないことね

こんな場所じきに  
つきとめるはずよ…

ハア

ハア

ハア

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

バ  
バ  
バ

ズ  
ズ  
ズ

そう そのうち救助部隊の  
精鋭たちが来るはず…  
それまで耐えれば…

ククク 俺が既に  
お前を助けにきた部隊を  
壊滅させたと言ったら？

なっ…

そういえばお前の名前を呼ぶ  
青髪の男もいたなあ

確か名前はトオル  
お前の夫だったかな？





嘘よ…信じては駄目  
これは相手の罠よ

そんなこと  
誰が信じ…

じゃあ何故？  
ここに助けがこない？  
一ヶ月以上経ったが…  
悠長な組織だ

普段ならば絶対に  
騙されない言葉

しかし  
弱り切った私の心には  
よく響いた



お前の夫は死んだ  
助けは来ない

お前がいくら  
耐えようと  
もうムダだ

ハア

ハア

ハア

確証もないのに  
こんな言葉に  
流されるなんて…

だ  
駄目よ…

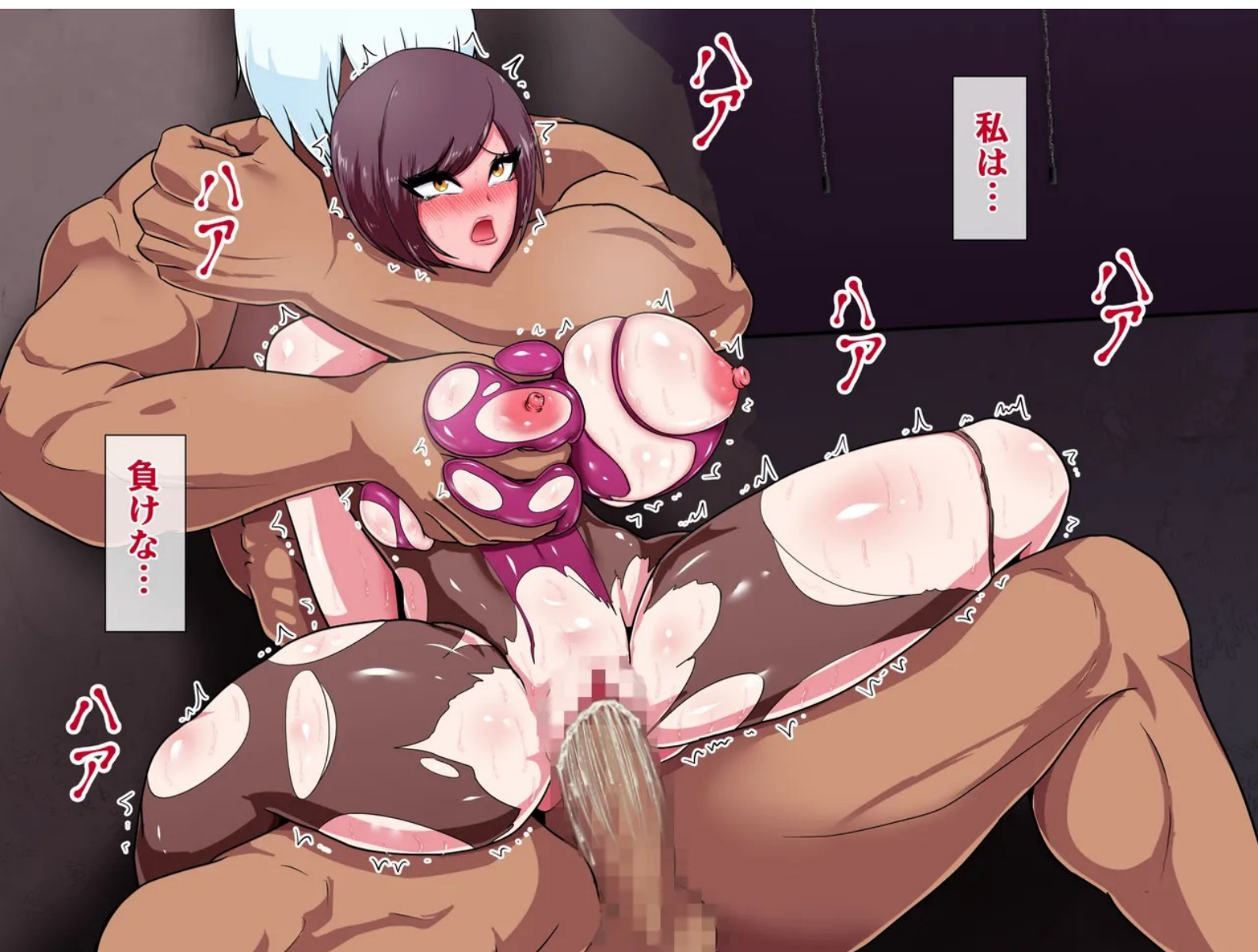






ああっ!!

さあ このまま  
締め落としてやろう  
今日はじっくりと  
時間をかけてな







いやああああああ!!

あなたああああ!!

フッ  
フッ  
フッ

助けてええええ!!

ククク…  
どうした？  
もう限界か？

あなたあああ!!

グググ

グググ

無様だな これがアルブの  
ベテランスパイだというから  
笑わせてくれる













ふん  
少し言葉で揺さぶったら  
こうも簡単に壊れるとはな…

これが格の違いだ  
覚えておけ 冷刻の女豹

ピチャ…

ピチ…











ククク 少し時間は  
掛かったが墜ちたか

これからは  
肉奴隷として  
しっかり調教してやろう  
楽しみにしておくんだな



アヤネが  
消息を絶って一ヶ月が  
過ぎている

通信が途絶えた場所で  
アヤネは見つからなかった  
スパイ狩にどこかに  
囚われている可能性が高い

しかし手掛かりが無く  
救助は難航していた

そんな時だった

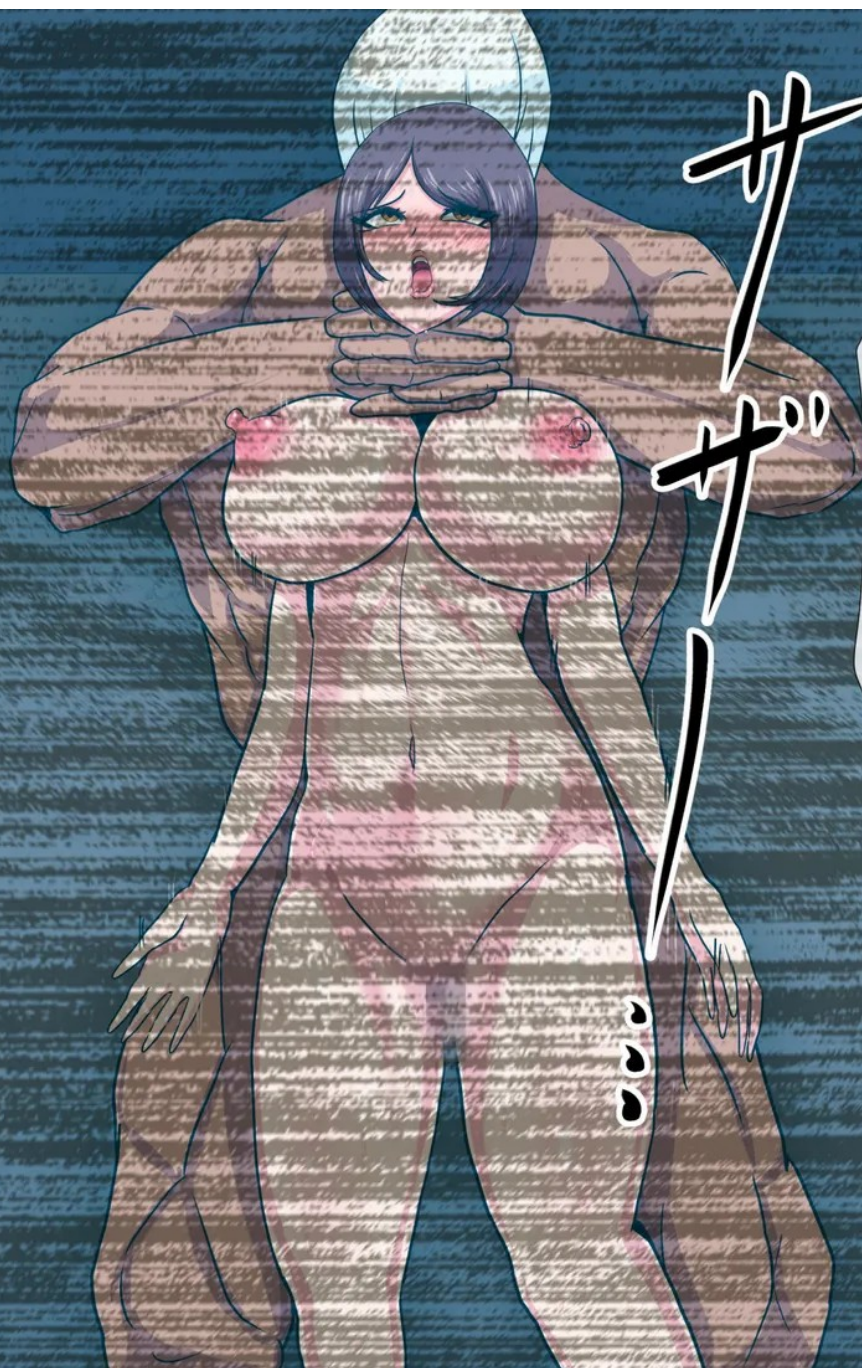


ト  
ト  
ト

NO・8629—  
アヤネからのシグナル！

ザ  
ザ  
ザ

メインモニターに  
映せ！





アヤネ!

うつろな目…  
普段の勝気なアヤネとは  
とても似つかない姿だった



やはりアヤネは  
敵に囚われていた!



わ私はっ…自分の実力がわからずっ  
あなたに…楯突いてっ完膚なきまでに  
負けた…愚かな女ですっ

わ私はあなたに心折られ…  
完全屈服しましたっ



気が済むまでっ  
せ性処理道具として…  
お使いくださいっ

あの気高く  
どんな時でも余裕の表情を  
浮かべていた  
あのアヤネが…こんな言葉を…

お雄にっ蹂躪される雌の悦びを…  
与えてっ…くださったことを  
か感謝していますっ



この愚かなっ 雌マンコに  
屈強な精子をっ…  
注ぎ込んでくだっさい…

わ私をもっと…乱暴に  
お使いっくださいっ





おおおっ！

くっ首締め酸欠セックスで  
イきますっ！

ズナッ

ズブッ

ズブッ

ドナッ

ズブッ

ズボ

ああっ！

もっと… もっと…  
絞めて！  
突いて！ああっ！





かつ…完全敗北マンコに…

あつ…

ああつ…

大量中出しっ…  
あつ ありがとうございます  
ございっますっ…



アヤネ…

だ  
ぽ

ち  
ぽ

延々とアヤネがハンター狩に  
蹂躪される映像が続いている













おい  
とっとなしゃぶれ

ゲホッ

ビチャ

グチャ

カーッ

ハア

ハア

ハア

ははいっ…  
申し訳ございませんっ

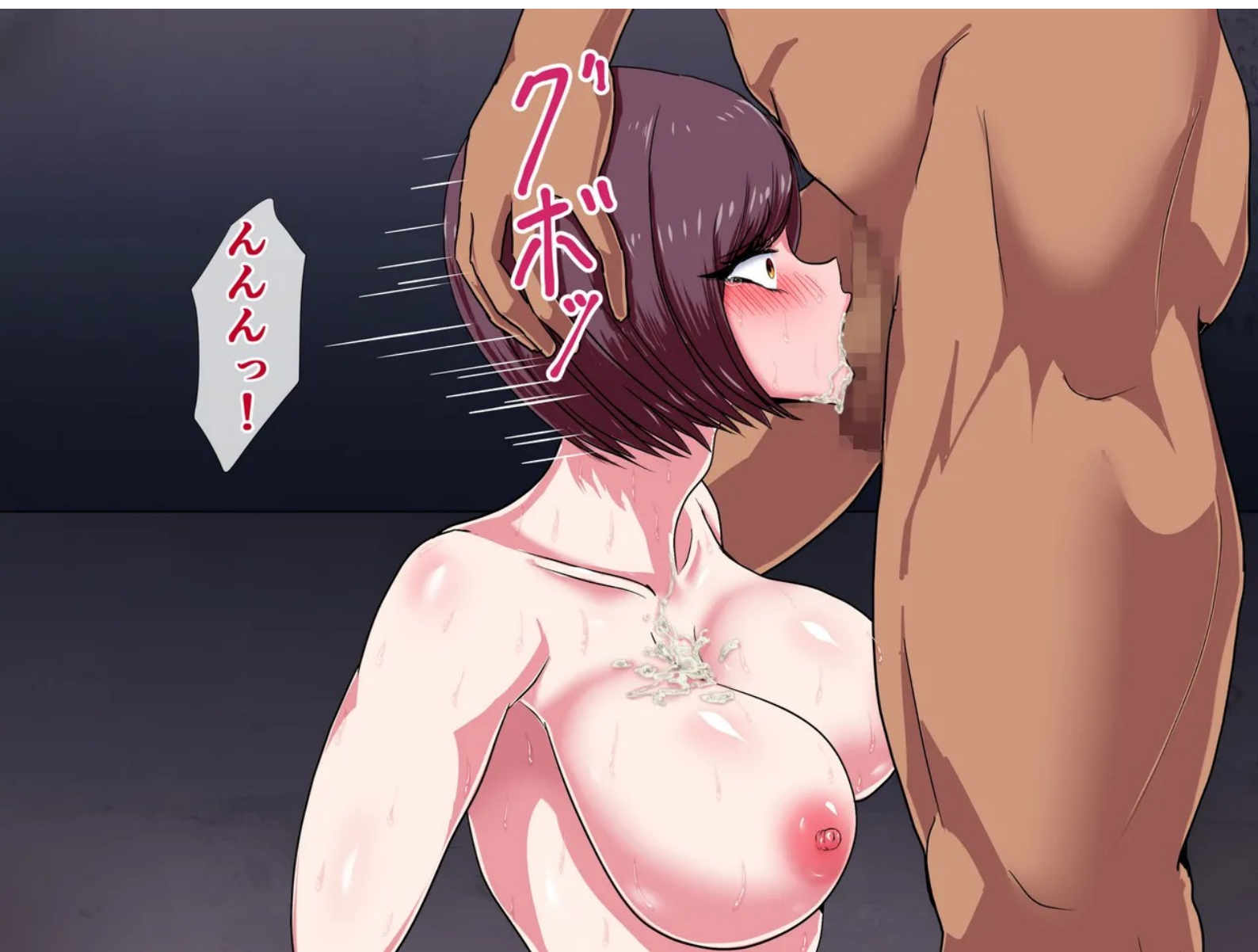












グッ  
ホッ

んんっ!



おおっ!

ビュッ

ビュッ

ホッ  
ビュッ

ビュッ





アヤネは全く抵抗する意思を  
見せなかった  
完全に男に屈服しているようだ







もっと…私をっ蹂躪して  
敗北マンコに…もっと  
お仕置きしてください！

も…もっとと犯して  
ください

あっ  
あへっ

グチャッ

バチャッ

ズチャッ

ズチャッ

ふん　ここまで変わるとはな  
意地もプライドも何もかも  
無くなったのか

は　はいっ…  
私はあなたになす術もなく…  
ま負けてっ支配された女です

雌豚肉便器にっ  
ほ誇りなんて  
不要ですから…っ

ズ  
ズ  
ズ

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ





雌は雄に従う存在だっ…  
あなたに何度もっ  
叩き込まれてっ

あぁっ

よようやく  
自分の立場が…  
わかりましたっ

ドチゅっ

ブチゅっ

ブチゅっ

今まで反抗してしまいっ  
申し訳ございませんっ  
…でしたっ

あぁっ



夫も裏切り  
卑しい女に成り下がった  
肉便器め

冷刻の女豹  
所詮お前は  
この程度の女だ

グ  
ズ  
ッ

あっ

グ  
ズ  
ッ

ズ  
ズ  
ッ

ズ  
ズ  
ッ

ああっ

は はい… 今まで  
調子に…乗っていました  
申し訳ございませんっ

身の程をつワカラせて頂きっ  
ありがとうございます…







ま毎日無様に…負けてっ  
コテンパンにされてっ  
わ私の自信もっプライドも…  
もうズタボロになりましたっ…

心折られて…  
ももう私はただの  
性処理道具ですっ

お前は肉便器だ

はい… その通りですっ  
わたしは肉便器ですっ

もう勝負はいいのか？

ズブッ

ズブッ

ググッ

ズチッ

ズブッ

グブッ

はいっ…

もう… 勝てませんからっ  
もう完全屈服しましたっ

私はっあなたの肉便器として  
従い続けますっ











